

2019 年度 クリニクラウンによる子どもの成長サポート事業 報告書



認定 NPO 法人 日本クリニクラウン協会

〒530-0053 大阪市北区末広町 3-11 天しもビル 3B

TEL:06-4792-8716/FAX:06-4792-8746

E-mail:info@claniclowns.jp

<http://www.cliniclowns.jp>

## 2019年度 クリニクラウンによる子どもの成長サポート事業 報告書

「TOOTHFAIRY」プロジェクトからご支援いただいた支援金は、2019年度のクリニクラウン派遣事業の一部に活用させていただいております。ご支援いただき本当にありがとうございます。

### ■名称：クリニクラウンの派遣

### ■目的

クリニクラウンの訪問を希望する国内の小児医療施設にクリニクラウンを派遣し、入院中の子どもたちが子どもらしく過ごせる「こども時間」を届けます。

訪問病院数	34 病院
訪問回数	63 回
訪問によって関わった子ども数	2082 名※
クリニクラウンのべ派遣人数	126 名

※訪問後にクリニクラウンに提出される病院訪問報告書より



### 【訪問病院】

	病院名	訪問病棟	訪問時間	実施日程	子ども数
1	旭川医科大学病院	小児病棟	14時 ～15時20分	2019年10月17日	34
2	札幌北楡病院	小児病棟	14時 ～15時30分	2019年10月16日	20
3	東北大学医学部附属病院	5階西・東病棟（小児病棟）	14時～16時30分	2019年9月10日	34
				2019年10月8日	23
				2020年1月7日	14
4	宮城県立こども病院	ICU・2F病棟・外来	15時～17時	2019年9月11日	53
		ICU・拓桃2F・3F病棟・外来		2019年10月9日	70
		ICU・3F病棟・外来		2020年1月8日	42
5	岩手県立大船渡病院	小児病棟	14時～16時	2019年7月16日	9
6	いわき市医療センター	小児病棟	14時～16時	2019年7月12日	24
7	日本大学医学部附属病院	3C（小児医療センター）	15時～17時	2019年12月10日	7
8	東京慈恵会医科大学	2F、4F	14時～16時	2019年6月5日	36
				2019年9月4日	44
9	東京医科歯科大学医学部附属病院	小児病棟	14時～16時	2019年5月16日	21
				2019年7月18日	16
				2019年9月19日	14
10	千葉県こども病院	6東・7階病棟	14時20分～16時 30分	2019年5月14日	30
		6東・7階病棟		2019年6月6日	29
		4東・4西病棟		2019年7月4日	39
		6西・5階病棟		2019年7月9日	31
11	静岡県立こども病院	西3・西6・北3・北4・CCU	14時 ～16時30分	2019年6月10日	45
				2019年7月8日	33

12	浜松医科大学附属病院	小児病棟	14時～16時	2019年8月27日	26
13	信州大学医学部附属病院	小児病棟	14時～16時	2019年7月29日	21
14	愛知県心身障害者コロニー中央病院	西3/西4/外来/HICU	13時30分～16時	2019年11月11日	53
		東4/西5/歯科	45分	2019年11月11日	52
		こぼと1/2/3病棟B	13時～ 15時40分	2019年12月6日	51
				2019年12月6日	58
15	大阪大学医学部附属病院	6F 西棟・東棟	14時 ～16時30分	2020年2月19日	36
16	大阪市立総合医療センター	6階すみれ・さくら病棟 10階、外来	14時～16時	2019年6月18日	34
				2019年7月16日	52
17	大阪赤十字病院	8F 小児病棟	14時～16時	2019年11月26日	31
18	大阪医科大学附属大学病院	65病棟（小児病棟）	14時 ～16時30分	2020年2月19日	24
19	ポバーズ記念病院	2F 病棟	14時～16時	2019年8月29日	71
20	兵庫県尼崎総合医療センター	5F 東病棟	14時～16時	2019年9月9日	18
21	京都府立医科大学附属病院	小児医療センター 西棟・東棟	14時 ～16時30分	2019年5月9日	31
				2019年6月13日	27
				2020年1月9日	21
				2020年2月6日	22
22	日本赤十字和歌山医療センター	小児病棟・NICU病棟	14時～16時30分	2019年7月23日	27
23	岡山大学附属病院	西病棟・東病棟	14時 ～16時30分	2019年6月5日	44
				2019年7月3日	41
				2020年2月5日	43
24	香川大学医学部附属病院	2F 東病棟	14時～16時	2019年10月1日	19
				2019年11月5日	14
				2020年2月4日	21
25	熊本大学医学部附属病院	小児病棟	14時～16時	2019年11月19日	21
26	熊本赤十字病院	こども2階病棟・3階病棟	14時～16時	2019年11月20日	26
27	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	4F/5F 西/5F	14時 ～17時30分	2019年6月27日	41
				2019年10月31日	37
28	中頭病院	4F 南/4F 西	14時～16時	2019年6月25日	8
				2019年11月1日	15
29	琉球大学医学部附属病院	小児病棟	14時～16時	2019年6月27日	16
				2019年10月30日	22
30	沖縄県立中部病院	小児病棟・NICU病棟	14時～16時30分	2019年10月31日	38
31	那覇市立病院	小児病棟・外来	14時～16時	2019年6月26日	22
				2019年10月30日	17
32	沖縄立北部病院	小児病棟	14時～16時	2019年6月26日	34
				2019年11月1日	33
33	沖縄中部療育医療センター	広間・2/1病棟・リハビリ・外来	10時～12時	2019年6月28日	147
				2019年6月28日	
34	沖縄南部療育医療センター	通所棟、第1、2、3病棟	14時～16時	2019年6月24日	100
				2019年6月24日	

※クリニックラウンは2名1組で訪問する。

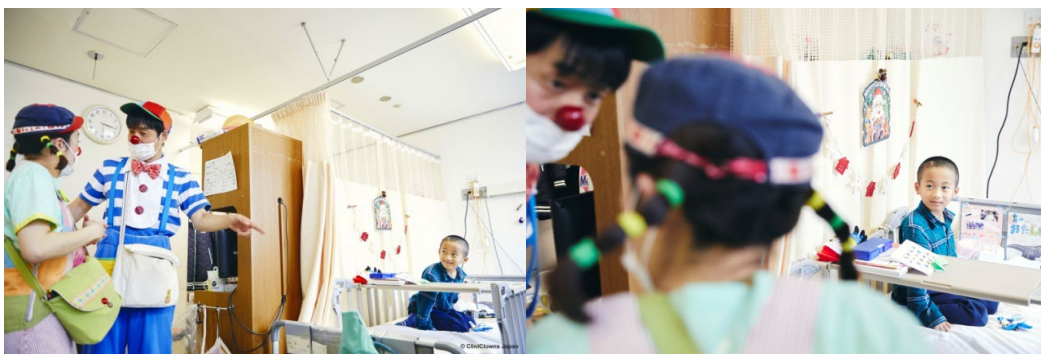
※訪問するクリニックは健康診断書、抗体検査結果、ワクチン接種証明書類などを病院に提出している。  
また、インフルエンザ予防接種を毎年おこなっている。

#### ◆活動の様子

クリニックの病棟訪問は、プレイルームやロビーに子どもたちを集めて演技を披露するのではなく、一人ひとりの部屋を個別に訪問し、遊びやユーモアを通じて子どもや家族とコミュニケーションをとります。1回の訪問時間は2～3時間。クリニックは子どもだけでなく、保護者や医療スタッフとも積極的にコミュニケーションを図ります。これは、病棟の療養環境をつくっているのはそこにいる人であり、そこにいる人たちのコミュニケーションが豊かになることや子ども自身が人と関わることを楽しいと感じてもらうことが、入院中の子どもの QOL 向上につながると考えているからです。

#### ②病棟訪問

病棟に入る前はしっかり手洗い・消毒。クリーンルームなど清潔隔離が必要な部屋から訪問します。また、感染症対策の必要な病室では病院の規則に合わせ、マスクやエプロンなどを着用する場合があります。



病気のことを一瞬でも忘れて子どもたちが子どもらしく過ごせる「こども時間」をクリニックは届けています。子どもはもちろん付き添いのご家族や病棟スタッフとも積極的にコミュニケーションをとり病棟全体の雰囲気明るくします。



#### ③後カンファレンス

訪問後に、病棟スタッフと訪問の感想を共有します。訪問でクリニックが感じた家族や子どもの様子や変化を伝え、子どもたちの成長や発達という視点で話し合います。



## ●今後の課題と取り組み

専門的な研修を積んだクリニックラウンが、入院生活を過ごす子どもたちの病室を訪問し、遊びやコミュニケーションを用いて、子どもの自発性や主体性を育み、成長や発達をサポートすることができました。訪問病院からは、継続的なクリニックラウンの訪問の要望をうけています。しかし、財政的な制限やクリニックラウンの人材不足ということもあり、病院からの訪問の要望をすべてかなえることができていません。クリニックラウンの育成には労力と時間とお金がかかるため、安定的な財源を確保し、クリニックラウンの育成を行い、これからも多くの人にご協力いただきながら、より多くの「こども時間」を小児病棟に届けていきたいと思えます。

全国の病院からの継続的な訪問希望があり、運営していく中で旅費交通費の負担が増加しています。また、移動時間の長さなどもありクリニックラウンへの負担も増えてきています。クリニックラウンの活動地域の広がりを受け、継続的な活動ができる仕組みをつくっていきます。今後は、全国を6ブロックに分け、地域ごとに活動を充実させていき、経費ロスを削減するように努力していきます。そこで、2019年度は東京での新規クリニックラウンの育成を行い、2020年度は沖縄県での養成を行い、地域の病院を地域のクリニックラウンが支える仕組みをつくり、地域の人がそれを支援するという体制のモデルケースをつくっていきたい。

また、病棟スタッフとの連携が深まる中で、クリニックラウンのスキルを日々の看護や保育、こどもや保護者との関わりのヒントにしたいという感想が多く寄せられています。病気や障害を抱えるこどもや家族を支えていく上で、多職種で連携していくことが不可欠であり、そのための交流する場づくりが必要です。今後は、医療・教育・福祉分野のスタッフを対象とした多職種連携の勉強会を実施し、クリニックラウンの持つスキルを対人援助職の人に伝えるとともに、それぞれの仕事や役割についての理解を深め、より連携を深めていきます。